

2023年度 町田市スポーツ推進計画19-28アクションプラン進捗状況(主な実施事業)

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実

(1) 子どものスポーツ推進

番号	取組項目			主な取組
	指標	目標値	実績値	
1-1-2	市内10地区のスポーツマップの作成・活用			鶴川地区、木曽地区、忠生地区のスポーツマップを作成し、ホームタウンチーム(FC町田ゼルビア)と連携を図り、小学校16校に配布したほか、南地区、高ヶ坂・成瀬地区、相原地区、小山・小山ヶ丘地区、町田第一地区、町田第二地区、玉川学園・南大谷地区についても新1年生を対象に区域内の小学校26校にスポーツマップを配布した。全10地区のスポーツマップが完成し、市全体を網羅することができた。引き続き、関係各課や関係団体と連携し、情報発信や年度更新に取り組んでいく。
【再掲】 4-1-1	スポーツマップを作成した地区数	10地区	10地区	
1-1-4	トップアスリートとの交流機会の創出			関係団体と連携し、トップアスリートとの多種多様な交流イベントや教室を実施できた。具体的には、ホストタウンであるインドネシアのパラバドミントン選手団と市内小学校との交流会、Vリーグ所属選手によるバレーボール教室、大相撲町田場所の開催、元日本代表選手によるカヌー体験会、Jリーガーが教えるゴールキーパー教室などを実施した。トップアスリートとの交流機会をとおして、様々な競技を実施したことで、子どもだけにとどまらず、幅広い世代の方にスポーツの楽しさを伝えることができた。
	トップアスリートとの交流機会の創出	年9回	年17回	

(2) 働き盛り世代・子育て世代のスポーツ推進

番号	取組項目			主な取組
	指標	目標値	実績値	
1-2-3	家族で参加できるスポーツイベントの開催			特に参加者の少ない20代から40代の働き世代に多く参加してもらえるよう、親子で楽しめるニュースポーツ体験コーナーや的あてドッチビーの設置を行った。体力テストの測定対象は18歳から74歳までであるが、ファミリーで楽しんでもらえるように、17歳以下、75歳以上の方の測定用紙や体組成測定を用意して幅広い年代の方にご参加いただいた。判定対象外の子どもには、参加賞の配布や測定後にスポーツ推進委員からアドバイスもらえるようにした。また、2022年度に引き続き、包括連携協定を結んでいる明治㈱に協力いただき、骨密度測定会を実施した。体験ブースの内容などを工夫を図った結果、2022年度より32名の参加者が増加し、特に子ども連れの家族での参加が例年より増加した。
	市民体力テスト年間参加者数(20歳代～50歳代まで)	年 450人	年 172人	

(3) 高齢者のスポーツ推進

番号	取組項目			主な取組
	指標	目標値	実績値	
1-3-2	温浴施設を活用したスポーツ環境の充実			12月から「温浴利用+のびのび体操&ストレッチ教室」の割引券を月1回販売し、温浴施設に訪れた普段スポーツに馴染みのない方へ、運動機会を提供することができた。多目的室の一般開放では、より多くの方がスポーツを体験できるように努め、主に卓球・ダンス・武道で、子どもから高齢者までの幅広い世代で施設をご利用いただくことができた。また、予約のない空き時間では、指定管理者の自主事業やトレーニング室の教室事業を行い、スポーツに取り組める環境を提供した。
	温浴施設を活用した事業の実施	実施	実施	

(4) 障がい者のスポーツ推進

番号	取組項目			主な取組
	指標	目標値	実績値	
1-4-1	スポーツ・レクリエーション教室等の開催 ①障がい者スポーツ教室(サン町田旭町体育館、町田市子ども発達センター温水プール) ②指定管理者による教室・イベント事業			体育館における障がい者スポーツ教室は、体調確認等の新型コロナウイルス感染対策は継続し、2022年度よりも4回多くスポーツ教室を実施することができた。プールにおける障がい者スポーツ教室では、水中でマスクを付けられないなど、新型コロナウイルス感染対策が難しいため、密にならない人数での開催となり、1回ごとの参加人数が制限された。制限された中での開催であったが、指導員の協力により、参加者に合わせた細やかな指導を行うことができた。 指定管理者による教室・イベント事業では、障がい者スポーツの実施が定着し、東京都との連携事業で新しい取り組み(オンラインポッチャ)も実施することができた。各施設の特性を生かした教室やイベントを行うことで、昨年度から大幅に実施回数を増やすことができた。
	開催回数	①体育館 年36回 プール 年36回 ②年55回	①体育館 年33回 プール 年30回 ②年30回	
1-4-2	小学生を対象とした障がい者スポーツ体験教室開催			パラバドミントン教室を市内小学校15校1,116人の児童に対して実施することができた。加えて、今年度はパラバドミントンインドネシア代表を招き、町田第三小学校57人の児童と交流したほか、日本ブラインドサッカー協会と連携し、ブラインドサッカーの体験教室を実施し成人も含む62人が参加した。 2024年度もパラバドミントン体験教室を継続して実施するとともに、パラバドミントンインドネシア代表との交流やブラインドサッカー体験教室を行っていく。
	年間参加者数	年1,000人	年 1,116人	

基本目標2 スポーツに関わる 人材と組織の充実

(1) スポーツを支える人材の育成

番号	取組項目			主な取組
	指標	目標値	実績値	
2-1-1	大学・企業連携によるスポーツを支える人材の派遣			スポーツ教室への講師派遣やイベントへの学生ボランティアの派遣等、各団体とスポーツを支える人材の派遣に関する連携を実施することができた。 2024年度以降も、連携の実施に向け、各団体と調整を行う。
	連携団体数	7団体	7団体調整	
2-1-2	まちだサポーターズの活動機会の充実			例年にはない大きなイベント(まちだサポーターズ10周年記念事業・多摩ロードレース・フリーグファイナルシーズン町田ラウンド等)が市内であったことを受け、活動機会の充実が図れた。これに伴いまちだサポーターズの認知度が向上し、まちだサポーターズへの依頼相談の増加にも繋がった。 また、2023年度はホームタウンチーム・まちだサポーターズ・事務局での反省会等、ボランティア参加者の声を直接聞く機会を設けた。今後さらに、より一層活動に参加しやすい環境を提供し会員の増加に繋がるよう努めていく。
	年間延べ活動参加者数	年3,300人	年 3,318人	

(2) スポーツを支える団体の支援・育成

番号	取組項目			主な取組
	指標	目標値	実績値	
2-2-3	まちだサポーターズの組織化			自立化を目指すため、総務班を増員し、活動体制を継続していくために活動したほか、自主企画のイベントを実施した。また、スキルアップのための研修も企画し、実施した。引き続きまちだサポーターズと協働し、自主運営事業の支援や人材の育成などに取り組んでいく。
	まちだサポーターズの育成	実施	実施	

基本目標3 スポーツ環境の充実

(1) 「する」スポーツ環境の充実

番号	取組項目			主な取組
	指標	目標値	実績値	
3-1-4	公園のスポーツ利用の促進			2023年度は、目標値である新規3地区(鶴川地区、木曽地区、忠生地区)におけるスポーツマップを作成し、配布するとともに、2022年度までに作成した7地区分のスポーツマップも合わせて対象地区の小中学生に配布した。
	利用方法の見直し	10地区	10地区	
3-1-6	大学・企業連携によるスポーツ施設の市民利用拡大			協定締結団体数は5団体となったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、団体によっては敷地内への立ち入り制限がまだあり、利用に向けた調整や事業を実施することが困難な状況であった。1団体については、施設の貸出のテスト利用を行い、市民への貸出方法等検討した。 2024年度以降、すべての協定締結団体での事業実施を目指し、調整を行う。
	連携団体数	7団体	2団体検討調整	

(2) 「みる」スポーツ環境の充実

番号	取組項目			今後の課題
	指標	目標値	実績値	
3-2-3	パブリックビューイングの実施			ホームタウンチームの取り組みとして、FC町田ゼルビアが2023シーズン中に、南町田グランベリーパークなどで、合計4回実施した。現状、放映権等の兼ね合いから市独自でパブリックビューイングを実施することは困難であるが、今後もホームタウンチームなど様々な団体が行うパブリックビューイングに、広報等で協力を行っていく。
	年間実施回数	年 3回	年 4回	

基本目標4 スポーツを通じたまちづくり

(1) スポーツ情報の発信

番号	取組項目			主な取組
	指標	目標値	実績値	
4-1-2	スポーツ以外の既存情報発信ツールとの連携			地域で開催するスポーツ教室に関するチラシを、参加ターゲット層にあわせて、高齢者支援センターや子どもセンターなどに設置した。また、親子向けのスポーツ教室のご案内では、まちだ子育てサイトにも情報を掲載することで周知を図った。地域スポーツクラブが作成した自宅でもできる運動動画については、町田市総合健康づくり月間の機会を捉えて、発行物に動画サイト誘導のQRコードを提示し、周知を図った。引き続き、他部署や他の団体等との連携を図り、スポーツに関する情報を様々な媒体で発信していく。
	-	実施	実施	

(2) スポーツを通じたシティプロモーション

番号	取組項目			主な取組
	指標	目標値	実績値	
4-2-1	ホームタウンチームと連携したPR活動			Jリーグ、Fリーグの開幕や、ホーム最終戦に合わせて町田駅ペDESTリアンデッキの横断幕、タペストリーを設置し、それぞれのチームカラーに装飾を行い、市庁舎内では応援ウィークを実施した。また、FC町田ゼルビアのJ2優勝及びJ1昇格決定後、市庁舎正面に横断幕を設置し、PRを行った。 X(旧Twitter)を活用し、チームのホームゲーム情報、試合結果等、チームに関連する情報発信を行った。ホームタウンチームを周知・PRできる場所が限られているため、次年度以降はより広く市民へ周知できるように、新たな広報の場の獲得を検討していく。
	-	実施	実施	